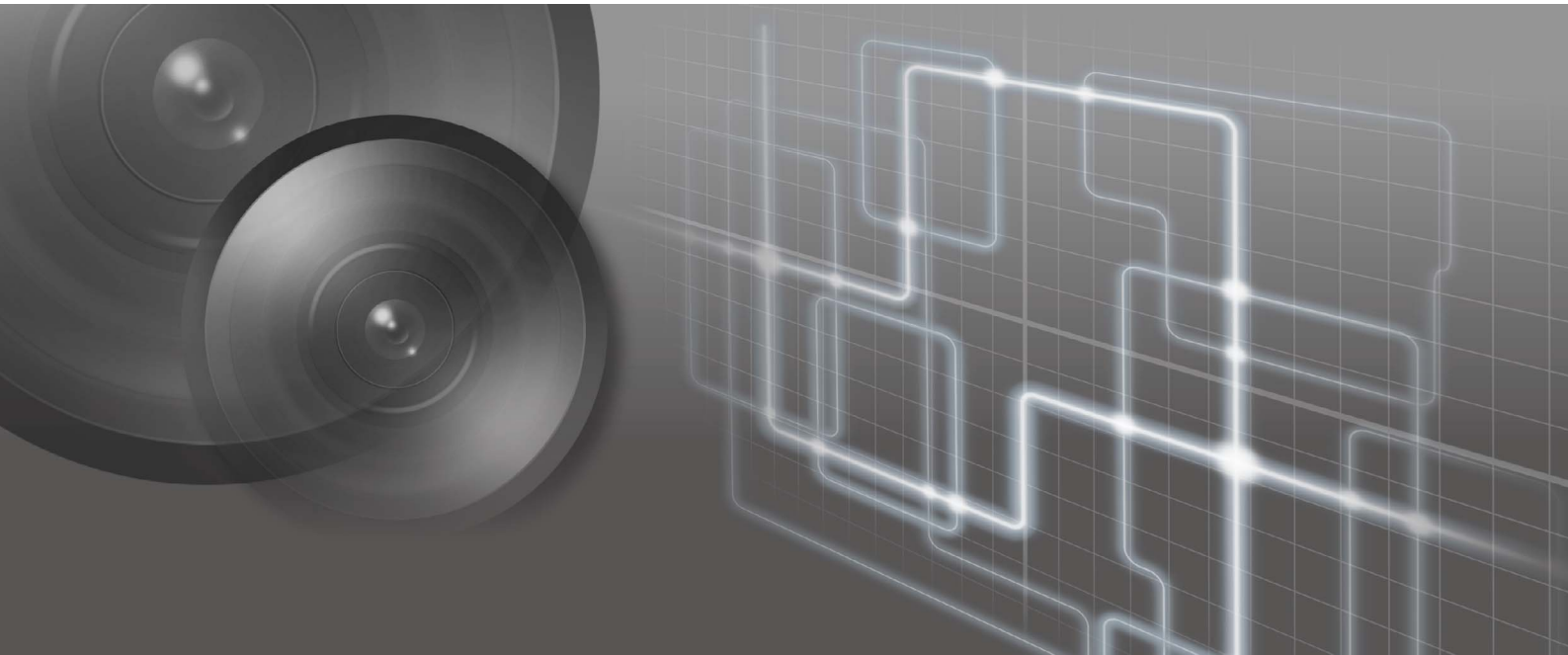


Canon

ホームページでカメラの映像を公開する
ユーザー様への参考情報



日本語

はじめに

本書は、サンプルページをカスタマイズして使用するための参考情報や、作成したホームページのデータをカメラに搭載されているフラッシュメモリに保存する方法が記載されています。

また、VBビューワーを利用してライブ映像をホームページで配信する方法や、あらかじめカメラに内蔵されているトップページをカスタマイズする方法についても記載されています (一部のカメラのみ)。

重要

本書の記載内容およびサンプルページの利用は、保証およびサポートの対象外となります。

目次

はじめに.....	2
Webサーバーで映像を公開する.....	3
ライブ映像を静止画として表示する.....	3
ライブ映像を動画で表示する.....	4
映像サイズの指定について.....	4
SSL/TLS対応環境でサンプルページを使用する.....	5
カメラにホームページのデータを保存して映像を公開する.....	6
SSL/TLS対応環境でサンプルページを使用する.....	7
VBビューワーを使用して映像を配信する.....	8
トップページをカスタマイズする.....	11

カメラは電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続することができません。カメラをインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。

Webサーバーで映像を公開する

サンプルページを参考にして映像配信のためのホームページを作成します。

サンプルページは、次の内容を例としています。

- 映像を提供するホームページにアクセスしたタイミングで、カメラがとらえた映像を静止画として表示する。
- 再生ボタンをクリックしてから停止ボタンをクリックするまでの間、カメラがとらえている映像を動画として表示する。

具体的な利用例は、サンプルページを参考にしてください。

重要

- サンプルページを参考にして作成したホームページをインターネットに公開する場合は、Web サーバーに登録してからご利用ください。
- サンプルページを参考にして作成したホームページを動作させるためには、ご使用のブラウザの設定で cookie および JavaScript を有効にする必要があります。
- カメラがとらえた映像を表示させるためには、カメラの設定ページで [一般ユーザー] に [映像配信] の権限を付与するように設定してください。

ライブ映像を静止画として表示する

still.htmlは、ホームページにアクセスしたタイミングで、カメラから静止画を取得して表示するサンプルページです。

■ 表示例



■ 記述方法

```
<div id="image">  
  
</div>
```

ライブ映像を動画で表示する

video.htmlは、再生ボタンをクリックしてから停止ボタンをクリックするまでの間、ライブ映像を動画で表示するサンプルページです。

■ 表示例



■ 記述方法

```
var frame_url = "http://<カメラのIPアドレス>/-vhttp-01-/image.cgi?v=jpg:<映像サイズ>&seq=";
```

映像サイズの指定について

image.cgiでは、カメラの映像サイズセットに応じて、映像サイズをvコマンドとして指定します。
例えば、映像サイズセットが1280x720 / 640x360 / 320x180の場合、次のいずれかを指定します。

v=jpg:320x180

v=jpg:640x360

v=jpg:1280x720

SSL/TLS対応環境でサンプルページを使用する

- Webサーバーとは別に、カメラ用の証明書を取得してカメラにインストールしてください。
- HTTPSで接続するようにカメラを設定してください。設定方法は、カメラの操作ガイド「SSL/TLS」の項を参照してください。
- サンプルページ内のカメラのIPアドレスを指定する箇所を「http」から「https」に変更してください。

still.html

```
<div id="image">

</div>
```

video.html

```
var frame_url = "https://<カメラのIPアドレス>/-wvhttp-01-/image.cgi?v=jpg:<映像サイズ>&seq=";
```

カメラにホームページのデータを保存して映像を公開する

カメラに搭載されているフラッシュメモリには、ホームページのデータを保存できます。映像配信用ホームページのコンテンツをカメラ内蔵のフラッシュメモリに保存しておくことで、カメラのみでホームページと映像の両方を配信できます。データを保存するには、FTPを使用して、ホームページを構成するデータをカメラに転送します。

カメラのIPアドレスを指定する必要はありません。映像サイズの指定を変更しないのであれば、サンプルページをそのまま使用できます。映像サイズを指定するときは「映像サイズの指定について」(p. 4)を参照してファイルを編集してください。

重要

- フラッシュメモリに保存するホームページのデータの合計サイズが2Mバイト以内になるようにしてください。
- フラッシュメモリの空き領域が少なくなると、書き込み性能が低下することがあります。フラッシュメモリには、必要最小限のファイルだけを置くようにしてください。
- ホームページのデータサイズが大きくなり過ぎると、カメラの設定が変更できなくなる場合があります。
- 設定ページの [メンテナンス] で [初期設定に戻す] を実行した場合、保存したデータはクリアされますので、あらかじめデータのバックアップを作成してください。
- フラッシュメモリにホームページのデータを保存して運用する場合、設定を変更した後に必ずイベントログを確認して、設定値の保存エラー (S306、S307) が表示されていないことを確認してください。エラーが発生していた場合はホームページデータを削除し、再設定してください。
- カメラがFTPサーバーを使用しない設定になっている場合は、カメラの設定ページで、使用する設定に変更してください。

データの転送先のURIとアカウントは次のようになります。

データの転送先のURI	ftp://<カメラのIPアドレス>/local
アカウント	設定ページの [FTPサーバー] で指定したアカウント

転送したデータをWebブラウザで開くためのURIは次のようになります。

http://<カメラのIPアドレス>/local/

メモ

次のカメラ、ファームウェアのバージョンでは、データの転送先のURIとアカウントが異なります。

- VB-R11VE/VB-R11/VB-R10VE (ファームウェア V1.0.x)
- VB-M641VE/VB-M641V/VB-M640VE/VB-M640V (ファームウェア V1.0.x)
- VB-M741LE/VB-M740E (ファームウェア V1.0.x)
- VB-H43/VB-H630VE/VB-H630D/VB-H730F
- VB-M42/VB-M620VE/VB-M620D/VB-M720F
- VB-S30D/VB-S31D/VB-S800D/VB-S900F
- VB-S805D/VB-S905F
- VB-H41/VB-H610VE/VB-H610D/VB-H710F
- VB-M40/VB-M600VE/VB-M600D/VB-M700F

データの転送先のURI	ftp://<カメラのIPアドレス>/usr/www/html/local
アカウント	管理者アカウント

SSL/TLS対応環境でサンプルページを使用する

- カメラ用の証明書を取得してインストールしてください。
- HTTPSで接続するようにカメラを設定してください。設定方法は、カメラの操作ガイド「SSL/TLS」の項を参照してください。
- 転送したデータをWebブラウザで開くためのURIを「http」から「https」に変更してください。

```
https://<カメラのIPアドレス>/local/
```

VBビューワーを使用して映像を配信する

「VBビューワー」が搭載された次のカメラでは、VBビューワーを利用して、ホームページ上で映像を配信することができます。

■ VBビューワー搭載カメラ

- VB-R11VE/VB-R11/VB-R10VE (ファームウェア V1.0.x)
- VB-M641VE/VB-M641V/VB-M640VE/VB-M640V (ファームウェア V1.0.x)
- VB-M741LE/VB-M740E (ファームウェア V1.0.x)
- VB-H43/VB-H630VE/VB-H630D/VB-H730F
- VB-M42/VB-M620VE/VB-M620D/VB-M720F
- VB-S30D/VB-S31D/VB-S800D/VB-S900F
- VB-S805D/VB-S905F
- VB-H41/VB-H610VE/VB-H610D/VB-H710F
- VB-M40/VB-M600VE/VB-M600D/VB-M700F

上記以外のカメラに搭載されている「カメラビューワー」は、ホームページ上で映像配信することができません。

📢 重要

- Webサーバーをご利用の場合は、WebサーバーとカメラのIPアドレス (またはグローバルアドレス) が同一サブネットになるように設定してください。
- VBビューワーを動作させるためには、ご使用のブラウザの設定でcookieおよびJavaScriptを有効にする必要があります。

■ ホームページのサンプル



■ ホームページのHTMLファイルの内容

```
<html>
<head>
<meta http-equiv="X-UA-Compatible" content="IE=9" />
<title>Viewer Sample Page</title>
</head>
<body bgcolor="gray">
<center>
<h1>サンプルページ</h1>

<iframe src="http://<カメラのIPアドレス>/viewer/live/index.html?lang=ja"
        scrolling="no"
        width=490 height=500>
</iframe>

</center>
</body>
</html>
```

各属性の値については
「iframe要素の属性について」
(p. 10)を参照

重要

VBビューワーを表示させる (フレームの) サイズによっては、パノラマ画面が隠れて表示されます。サイズを調整するか、タイトルバーをドラッグしてパノラマ画面を移動させてください。

メモ

ブラウザの言語設定を利用すれば、多言語に対応したホームページが作成できます。たとえば、国内向けのトップページをindex-ja.html、海外向けの英語ページをindex.htmlとし、http://<カメラのIPアドレス>/sample/というようにスラッシュで区切ったURIをユーザーに案内しておけば、アクセスしてきたブラウザの言語設定に応じて、適切なファイルをサーバーが発信します。言語設定機能の詳細についてはブラウザのヘルプをご覧ください。

■ iframe要素の属性について

iframe要素の属性の値を変更して、用途や表現に合ったホームページを提供できます。各パラメーターの内容をよく理解して使用してください。

src属性

VBビューワーのURIを指定します。省略できません。

VB-R11VE/VB-R11/VB-R10VE/VB-M641VE/VB-M641V/VB-M640VE/VB-M640V/
VB-M741LE/VB-M740E/VB-H43/VB-H630VE/VB-H630D/VB-H730F/VB-M42/
VB-M620VE/VB-M620D/VB-M720F/VB-S30D/VB-S31D/VB-S800D/VB-S900F/
VB-S805D/VB-S905F:

```
src="http://<カメラのIPアドレス>/viewer/live/index.html?lang=<言語>"
```

VB-H41/VB-H610VE/VB-H610D/VB-H710F/VB-M40/VB-M600VE/VB-M600D/VB-M700F:

```
src="http://<カメラのIPアドレス>/viewer/live/<言語>/live.html"
```

カメラのフラッシュメモリに保存したホームページでは、次のようにIPアドレスを省略できます。

例：VB-M40/VB-M600VE/VB-M600D/VB-M700F

```
src="/viewer/live/<言語>/live.html"
```

<言語>には、表示するビューワーの言語を次のように指定します。

日本語版	ja	イタリア語版	it	トルコ語版	tr
英語版	en	ドイツ語版	de	ロシア語版	ru
フランス語版	fr	スペイン語版	es	中国語版	zh

お使いのカメラによって利用できる言語が異なります。

scrolling属性

スクロールバーの表示または非表示を指定します。省略することができます。

フレームのスクロールバーを非表示にするには次のように記述します。

```
scrolling="no"
```

width属性

フレームの幅をカメラのサイズに合わせて指定します。省略できません。

VB-M40/VB-M600VE/VB-M600D/VB-M700F:

```
width=490
```

上記以外

```
width=645
```

トップページをカスタマイズする

「トップページ」のある次のカメラでは、お使いの用途に合わせてトップページをカスタマイズし、画面の表示や操作内容を変更することができます。

■ トップページのあるカメラ

- VB-R11VE/VB-R11/VB-R10VE (ファームウェア V1.0.x)
- VB-M641VE/VB-M641V/VB-M640VE/VB-M640V (ファームウェア V1.0.x)
- VB-M741LE/VB-M740E (ファームウェア V1.0.x)
- VB-H43/VB-H630VE/VB-H630D/VB-H730F
- VB-M42/VB-M620VE/VB-M620D/VB-M720F
- VB-S30D/VB-S31D/VB-S800D/VB-S900F
- VB-S805D/VB-S905F
- VB-H41/VB-H610VE/VB-H610D/VB-H710F
- VB-M40/VB-M600VE/VB-M600D/VB-M700F

上記以外のカメラには「トップページ」がないため、カスタマイズできません。

メモ

トップページには下記からアクセスできます。

<http://<カメラのIPアドレス>/>

たとえば、カメラのIPアドレスが192.168.100.1の場合は、ブラウザのアドレスバーに次のように指定します。

<http://192.168.100.1/>

■ トップページの変更方法

カメラのトップページ (HTML ファイル、およびスタイルシート、画像ファイルなど) は、カメラの内蔵フラッシュメモリに記録されています。フラッシュメモリにFTPでアクセスすることで、トップページのファイルの取得や更新ができます。トップページのHTMLファイルは、言語ごとに下記のように分かれています。なお、お使いのカメラによって利用できる言語が異なります。

ファイルの種類	パス	ファイル名
日本語版トップページ	/mnt_flash/www/html/top/	index-ja.html
英語版トップページ		index.html
フランス語版トップページ		index-fr.html
イタリア語版トップページ		index-it.html
ドイツ語版トップページ		index-de.html
スペイン語版トップページ		index-es.html
トルコ語版トップページ		index-tr.html
ロシア語版トップページ		index-ru.html
中国語版トップページ		index-zh.html

必要に応じて、スタイルシート、イメージファイルを書き換えてください。工場出荷時のトップページのスタイルシートおよびイメージファイルは次のパスに置かれています。

ファイルの種類	パス	ファイル名
スタイルシートファイル	/mnt_flash/www/html/top/	toppage.css
日本語版イメージファイル	/mnt_flash/www/html/top/img	「j_」ではじまるファイル
英語版イメージファイル		「e_」ではじまるファイル
フランス語版イメージファイル		「f_」ではじまるファイル
イタリア語版イメージファイル		「i_」ではじまるファイル
ドイツ語版イメージファイル		「g_」ではじまるファイル
スペイン語版イメージファイル		「s_」ではじまるファイル
トルコ語版イメージファイル		「t_」ではじまるファイル
ロシア語版イメージファイル		「r_」ではじまるファイル
中国語版イメージファイル		「c_」ではじまるファイル
背景イメージファイル		top_back.jpg
その他イメージファイル		logo.gif*

* logo.gifがないカメラもあります。

重要

- 変更後のトップページで使用するスタイルシート、イメージファイルなどのパスは正しく記述してください。
- トップページを変更する場合は、あらかじめ標準の (工場出荷時にカメラに記録されている) トップページをバックアップしてください。
- トップページの変更後に設定ページの [メンテナンス] で [初期設定に戻す] を実行した場合、およびファームウェアをアップデートした場合、トップページはカメラ標準のトップページに書き換えられます。カスタマイズしたトップページを使用するには、再度書き換えが必要です (アップデートした場合は、トップページ以外はそのままです)。カスタマイズしたトップページを構成するファイルのバックアップを作成しておくことをお勧めします。
- トップページを変更した場合、トップページの動作保証はいたしません。また、サポートの対象外となります。

本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。